

育休後社員が活躍できる組織づくり

育休後コンサルタント **山口理栄**



第3回

育休中のコミュニケーションと復職準備

今回のフレーズ

「会社からの定期的な連絡はそういった（疎外感、孤立感）不安を払拭し安心して育児に取り組む助けになります。」

1 1995年の育休事情

自分の話で恐縮ですが、私が最初の産休、育休を取得したのは1994年から1995年にかけてでした。子どもが生後2ヶ月を迎えた1995年の1月17日に阪神淡路大震災が起きました。子どもを抱いたまま、炎が上がる街を映し出すテレビ画面を一日中見ていたことを思い出します。そしてその約2ヶ月後に地下鉄サリン事件が発生しました。歴史に残るような2つの大惨事で犠牲になっ

た人たち、それに対して何もできない自分、産まれたばかりの我が子。私の育児休業の記憶はそれらの事件と切り離すことができません。阪神淡路大震災後の経過年数と子どもの年齢は今後も同じ数字を刻み続けます。

この地震をきっかけにインターネットが新しいコミュニケーション手段として注目され始めました。ちょうど東日本大震災でツイッターが注目されたのと似ています。インターネットが普及し始めた当時電子メールはまだ一般的ではなく、社内報、給与明細、労組や健保のちらしやパンフレットなどが郵送される封筒の中に、職場からの事務連絡の手紙が入っていたりしました。

育休者とのコミュニケーション

会社が育休者とコミュニケーションを取る目的は2つあります。

1つは出産の無事や産後の本人と子どもの健康状態を把握することです。出産予定日を2週程度過ぎても本人から連絡がない場合は連絡してみましょう。出産日が確定して初めて産後休暇の終了日、育児休業の開始日が確定するのできちんと把握する必要があります。

もう1つは育休者の不安を解消することです。育児休業中は職場から忘れられてしまったのではといった疎外感、孤立感にとられることが多いことが知られています。会社からの定期的な連絡はそういった不安を払拭し安心して育児に取り組む助けになります。そのことが結果的に職場復帰への前向きな気持ち、会社へのロイヤリティの向上に役立ち、復職後のモチベーションにつながるのです。

コミュニケーションの手段はメール、郵

便を基本とし、時には職場に電話をかけさせたり、昼休みや就業後に子連れで顔を出させたりするのもよいでしょう。

育 休中のスキルアップ

育児休業は学校や職場の夏休みと異なり、時間が余っているところか足りないぐらいなのでスキルアップを義務づけることは好ましくありません。勉強しなければいけないと思うことがプレッシャーになり育児がおろそかになると復職後に響きますので本末転倒です。ただし、親と同居しているなど比較的育児休業中に余裕がある社員のためにスキルアップの手段を提供するのは悪くはありません。語学、パソコンスキルなどのeラーニング講座を使える環境を提供しているケースもあります。

もし妊娠・出産・復職ガイドブックのようなものを会社で作成するなら、育児中の過ごし方として伝えるべきことがあります。それは子どもに適した生活リズムを確立することです。睡眠や食事の時間を毎日一定にすることで、起きているときには機嫌良く遊び、寝る時間にはよく眠れるようになります。育児の時期にそのリズムを作っておけば、保育園の生活に慣れやすいですし、小学校に入ってから朝起きられない、朝食をとる時間がないといったことで悩まなくてすむのです。

復 職前セミナー

復職が近づいてくると育児の生活に慣れた社員は復職したくない気持ちと子どもと向き合う生活から脱却する期待との間で行ったり来たりします。この時期には復職前セミナーの開催が一般的になりつつあり

ます。

育児取得者が多い会社は社内開催が効率的です。4月に復職する社員が多いのであれば12月から2月の間に実施するのもよいでしょう。会社からの連絡事項の伝達、復職に関する不安の解消、心の準備が主な目的で、専門家の話や先輩の体験談も有効です。

短時間勤務制度を社員に自由に申請させておきながら利用者の増加に伴いお荷物扱いする会社が見受けられますが、復職前セミナーで制度の趣旨や会社が想定する使い方を説明してはいかがでしょうか。制度利用に伴う給与や賞与、評価の情報提供も必要です。

本人には就業時間の制限、保育園からの呼び出しや急に会社を休む時の対策、家族や支援者によるバックアップ体制などを整理させます。それらを上司との面談で共有すれば職場での支援体制づくりに役立ちますし、落ち着いて仕事を再開することができるようになります。

やまぐちりえ／大学卒業後、大手電機メーカーにてソフトウェアの設計開発、製品企画に従事。2006年から2年間ダイバーシティ・マネジメント推進プロジェクトでリーダーを務める。コンサルティングファームを経て2010年6月より育児後コンサルタントとして独立。
<http://1995consultant.com>